

# 業務対策委員会

継続と発展と

委員長

嵩原安三郎

Takehara Yasusaburou (53期)



本年度委員長を拝命いたしました嵩原安三郎です。一年間宜しくお願いいたします。

私は委員長をさせていただくこと自体初めてで、本当に皆さんのお役に立てるかと不安もありますが、業務対策委員会で長く活躍してこられた優秀な副委員長の方々を大いに頼りつつ、私のできることを精一杯務めさせていただきたいと考えています。

前々年度委員長であった小林寛治会員が立ち上げ、前年度委員長の谷川安徳会員が発展させた、他土業との大規模交流会である「多土祭々の会」は非常に大きな可能性がある魅力的な試みです。これを継続することは私の当然の責務だと思いますが、できることなら更に同会を発展させ、具体的な「協働体制の構築」を目指したいと考えております。現在すでにいくつかの具体案を委員会内で検討しています。

また、土業ではなく「他の業界」とのコラボレーション(他の業界の方々のお話を聞くと弁護士がいかに遅れているのか痛感してしまいます)や、「友新会」という親睦組織(他の会派と比べても、会員間の距離が近いのは友新会の特徴ですね)の強みを生かし、あらたな弁護士のかたちの「種」でも作り出せたらなど、妄想に近いことも考えております。

前年度谷川委員長が取り組んでおられた「弁護士業務に役立つ技術」というテーマはとても意義深いものであったと思います。会員の中には、自宅勤務の時間を増やしたい方、業務管理方法に悩んでいる方も多いかと思っております(私も悩んでいます)。その点についても考えることができたらとも思っています。

どれだけできるかはわかりませんが、悔いのないよう、精一杯努力してまいります。

ただ、それも、友新会会員の皆様のご理解とご協力あってのものです。また、皆様のご意見・アイデアも必要です。厳しいご意見ももちろんお待ちしておりますが、それ以上に温かいご意見をいただければ、本当にうれしいです。

それでは1年間、宜しくお願いいたします。